



浅間山北麓ジオパーク通信

あさまびと

A S A M A - B I T O

2024
冬号

Vol.31



地域の成り立ちから、地球の成り立ちを知る

SDGs × ASAMA

特集：再認定審査を終えて



浅間山北麓ジオパークは日本ジオパーク委員会（JGC）から2016年に認定を受けて8年目を迎えました。日本のジオパークは4年ごとに再認定審査を受け、書類及び現地審査並びに関係者との意見交換によりジオパークとしての基準を満たしているか否かが評価されます。今回2回目の審査となりますが、10月21日無事終了しその結果は来年1月頃に発表される予定です。

本号では、審査の様子と評価の重要なポイントである本ジオパークの各運営委員会等が行っている活動内容をご紹介します。

4年に1度の再認定審査! それってどんなものなの?

再認定審査は4年間の活動成果を審査し 課題解決のためのアドバイスの場

再認定審査は、ジオパークとしてより良いジオパークづくりに向けて、経験豊富な調査員と一緒に考えていく貴重な機会でもあり、またジオパークとしての活動が行われているかどうかを判断される重要な機会でもあります。日本ジオパーク委員会から派遣された調査員がジオサイトの訪問及び関係者との面談により、ジオパークの発展や改善のため取り組んだこと、新たな活動などについて審査し、今後の改善点などを現場でアドバイスしていただける大切な機会となります。

審査の結果、至急解決すべき問題点があると判断された場合は、2年後に再審査が行われ、ジオパークとして名乗れるかの審査を受けることにもなります。



日本ジオパークネットワーク (JGN) は、日本国内のジオパークとジオパークをめざす地域をサポートし、ジオパークのネットワークの軸となる特定非営利活動法人 (NPO法人) です。



▲再認定審査 首長との協議
◀旧草軽駅舎にてガイドを受ける審査員

審査に来ていただいた2名は
●下村 圭さん
(三笠ジオパーク事務局長)
●久保 純子さん
(日本ジオパーク委員)



調査・保全委員会

地域の魅力を細かく調べ、 未来に残すために活動する委員会



調査・保全委員会はサイトに設置しているサイト解説板や、総合案内看板を作成しています。サイトとは、大地のなりたちがわかったり、珍しい自然や、現存している歴史的な価値のある場所のことを指します。現地に来た方のためにこのサイトはどんなもので、どこが貴重なのかを分かりやすく伝え、外国の方にも読めるよう、英語も併記しています。

他にも大学と連携し、研究調査のお手伝いをし、その研究成果を住民の方にもフィードバックをするフォーラムを開催しています。また、浅間石がどこに分布しているかを調べ、後世に残すための活動である岩塊調査等も行っています。



▲大学連携事業
土壌調査を行う筑波大学
◀吾妻川エリア
総合案内看板

広報・観光委員会



イベントや冊子の作成など、
広報を一手に担う委員会

広報・観光委員会は四季折々のイベントの企画、運営やこの季刊誌『あさまびと』の編集、HPの作成をはじめ、お客様により多くの情報を分かりやすく伝えるような広報活動を行っています。新たに始めた石膏の中に入っている化石や石を取り出す化石発掘体験は非常に好評で、小さなお子様から大人まで楽しんでいただきました。

また、お客様がジオパークの見所を巡るモデルコースを示したセルフガイドシートや、ボールペン、クリアファイル、ポロシャツ等のオリジナルグッズのデザインから作成まで行い、商品として販売したり、ノベルティグッズとして皆様に配布しております。



▲GWジオパークイベント
化石発掘体験の様子

◀オリジナルグッズの
ポロシャツとエコバッグ
地域交流センターにて
販売中

教育・防災委員会



火山の恐ろしさと恵みを
次世代に伝える委員会

教育・防災委員会は、地域の学校には、非常になじみのある委員会です。学校教育をメインに担っており、小学校のふるさと学習や、中学校のスカイロケットレイル、高校の探求学習など、嬬恋村・長野原町の学校と協力し、生徒の地域学習のお手伝いをしています。

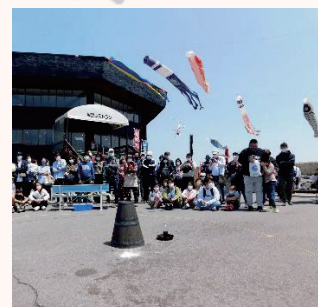
また、年に3回行っているジオカフェは、地域の方に参加していただき、コーヒーを飲みながら地域のお話を聞いたり、染物といった体験を行っています。参加費は100円で、コーヒーカップを持ってくれば美味しいコーヒーと様々なお話や体験ができるイベントとなっていますので、是非参加してみてください。

《高嶺の花、シャクナゲに会いに行こう！》

浅間山北麓ジオパーク
第29回ジオカフェ

開催日時 令和6年5月14日(水) 10:00~12:00
集合場所 浅間高嶺(シャクナゲ) 入口
アクセス 磐城サイトより徒歩15分
参加費 300円(入場、コーヒー、ミニ講演、飲み物)
開催内容 シャクナゲ節まつり開催中の園内をガイドの案内を頼りながら、高嶺のシャクナゲと高嶺の植物、お土産の「高嶺の茶」を存じます。
参加定員 20名(予約制・先着順)
持ち物 マイカップ
持ち帰り (コーヒーは持ち帰り禁止です)
その他 ●雨天決行、天候不明は、責任の所在を明確にいたします。●お土産も100円以上お持ちください。お土産の購入は、お土産の購入をお願いします。●お土産の購入は、お土産の購入をお願いします。
予約およびお申し込みは、お申し込みください。予約フォームからお申し込みください。
お申し込みの締切日 5月8日(水)まで

浅間山北麓ジオパーク管理委員会(高嶺山岳委員会)
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋町大字大田494-45
TEL/FAX 0272-5566
E-MAIL 0272-5566



▲GWジオパークイベント
火山噴火模擬実験

◀第29回ジオカフェチラシ



浅間山北麓ジオパークガイドの会

浅間山北麓ジオパークを知り尽くす
エキスパートなガイド団体



浅間山北麓ジオパークガイドの会に在籍するガイドは、ただ単に知識だけを提供するのではなく、浅間山に関わる物語や体験を重視した案内を心掛けています。毎年1万人をこえるお客様を案内し、ガイドが生きがいになったという方もいるほど、熱心に取り組んでいます。

また、参加したことがある方もいるかもしれませんが、毎年多くのツアーを開催しています。GWと夏休み期間に行っている浅間牧場ツアーや、雪の上を歩くスノーシューツアーなど、様々なジャンルのツアーを開催していますので、是非ご参加いただき、この地域のまだ見ぬ宝を探してみてください。



▲スノーシューガイド

◀令和6年実施の
ジオパークde登山の
チラシ

ジオパーク
de
登山

山頂までスカイロケットレイル

5月24日(土) 10:00、15:00

浅間山北麓ジオパーク管理委員会(高嶺山岳委員会)
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋町大字大田494-45
TEL/FAX 0272-5566
E-MAIL 0272-5566

古川 広樹 氏

子どもの頃に経験した台風や浅間山の噴火のこと

子どもの頃、浅間山が間近に見えるところに住んでいた。そろそろ夏休みが終わろうとする頃、大きな台風がやってきた。雨戸がガタガタと鳴って家の中が停電し、ほどなくしてプロパンガスが使えなくなった。翌朝、家の外に出ると、木があちこちで倒れて道を塞ぎ、地面に大きな地割れができていた。

父はのこぎりを持って道を塞いでいる倒木を切りに行った。母は外にかまどを作り、煮炊きを始めた。「さあ、朝ごはんよ」母はそう言って、私に目玉焼きを差し出した。私は灰の入った目玉焼きと母の顔を交互に見つめ、おそろおそろ手を付けた。

その年の冬、我が家に薪ストーブが来た。「薪がたくさん手に入ったからね」父は軒下にうず高く積まれた薪を見ながら満足そうに言った。

冬が終わり春になった。夜に地鳴りがして表に出ると、浅間山の上空が夕焼けのように赤くなっていた。親ときょうだいたちがやってきて、「今、揺れてる?」「揺れてないよ」「この世の終わりってこんな感じ?」「たぶん」と、ずいぶん無邪気な話をした。次の日、テレビのニュースで、浅間山が噴火したことを知った。

私はその後の人生の中で、この時の経験を、繰り返し思い出すことになった。

台風や火山の噴火のただ中で、父と母が私に見せた、たくましく、真剣で、生き生きとした姿が忘れられない。母が作ってくれた灰の入った目玉焼きの味や、軒下に薪を積む父の背中、そして地鳴りや火映が静かに身に迫り、おそろしくも幻想美に包まれた浅間山の姿を思い出す時、私は自分の少年時代がいかに幸福だったかを知るのだ。

中山 邦男 氏

ジオパークの教育旅行の行方

ジオパークの再認定のための現地審査も終わり、あとは審査結果を待つばかりでしょうか。そこで、教育関係について振り返ってみたいと思います。

世界の教育の動向をみると、ある一定の動きが見て取れます。そして、それはジオパークの教育においても共通するものがあるようです。その要点と思われる事項の一つは、総合的（包括的）にものごとを捉える（「しくみ」の理解から始める）見方・考え方です。ジオパークの教育の中心ともなるESD（持続可能な開発のための教育 Education for Sustainable Development）にも、それが表れていません。

もう一つ重要なのは、学習者の「主体的な学び」（主体的・対話的で深い学び）の推進です。これは今に始まったことではありませんが、今後ますます重要になるに違いありません。こんな観点から、学習プログラムや教育旅行のモデルコースなどを提案していきたいと思いますが、いかがでしょうか。地域における地球遺産の価値を掘り起こし（再確認し）、持続可能な社会を目指して（浅間山とともに未来へ）、対話を通じた共創により、よりよいジオパークの教育を求めていきましょう。

アンケートに答えると毎号5名様に
ハンドブック（非売品）が当たる！



アンケートはこちら

冬のジオパーク関連イベントのお知らせ！

12月28日～1月5日	年末年始 休館
2月1日	浅間山北麓・南麓地域 コラボレーションフォーラム
2月開催予定	ジオカフェ 「非常食を食べてみよう！」

発行：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council

制作担当：広報・観光委員会

〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原494-45

TEL/FAX：0279-82-5566

URL：www.mtasama.com

E-mail：info@mtasama.com

Facebook：www.facebook.com/asamageopark

Twitter：https://twitter.com/home

ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。

【料金】*ガイド1名あたりの値段

平地：半日6,600円 1日13,200円（参加者11名以上ガイド2名）

軽登山：半日11,000円 1日16,500円（参加者8名以上ガイド2名）

登山：1日27,500円（参加者8名以上ガイド2名）

編集後記

2度目の再認定審査が終わり、ジオパークになって8年が経過しました。今後は長野県側とより大きな活動をしていきたいので、ご協力をお願いします。